平成15年度春季全国大会「研究発表」講演募集

【申込締切：平成14年11月30日／原稿締切：平成15年2月8日】

概要集原稿の締切は皆さんのご要望により事務処理期間を大幅に短縮し，申込締切と分離して大会2か月前とすることにいたしました．

従いまして，申込者各位におかれましては，くれぐれも期日を厳守くださるようお願いいたします．

原稿締切から概要集発行までぎりぎりの時間しかありませんので，期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら掲載をお断りし，その部分白紙のまま発行することになりますのであらかじめご了承ください．また，プログラム編成後の申込取消は修正不可能ですのでプログラム及び概要集にはその旨記載され，その部分ブランクのまま発表されますのでご了承ください．

◇————◇

平成15年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますので，この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください．

開催期日　平成15年4月23日（水），24日（木），25日（金）

開催場所　三省堂文化会館（東京）

ー講演申込募集ー

1. **申込締切**：平成14年11月30日（土）
（当日到着までを有効とします）
2. **申込資格**：申込者は正員であること．連名の場合，講演者は正員（学生員も認める）でなければなりません．
3. **申込方法**：下記を取り揃え，所定の期日までに提出してください（所定の用紙類は本誌に綴じ込んであります）．同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください．
   （1）**講演申込書**：所定の用紙を使用し，所定事項を洩れなく記入してください．
   （2）**講演登録料**：1件について4,000円をご納入ください．送金は必ず現金書留郵便でお願いいたします．登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください．
   ※大会参加費2,000円は**大会当日**別途申し受けますのでご留意ください．また，講演概要集5,000円も別売となります．
   （3）**受付済通知書**：所定の用紙（郵便ハガキ形式）に指定事項（用紙に記載）を記入してください．
   （4）**英文概要**：当分の間不要と致します。
4. **原稿〆切**：平成15年2月8日（土）（くれぐれも期日を厳守してください）
5. **講演概要原稿**：必ず本会所定の原稿用紙を使用し，「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください．原稿用紙は常時販売していますので随時購入できます．
   原稿用紙代1組（2枚）50円
   発送料2組まで190円，10組まで270円，25組まで390円
   郵送による申込みの場合には原稿用紙代と郵送料に封筒貼付用の宛先カード（15×10 cm 程度，宛先明記）を添えて現金書留で申込むこと．
6. **発表時間**：講演10分，討論5分
7. **講演申込の確認**：申込を受付けますとただちに講演申込受付済通知書を発行したします．
8. **講演申込の取り消しについて**
   講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います．プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい．
9. **付帯器具の申込み**：講演に必要な器具は**遅くとも大会1カ月前までに**お申出ください．大会直前に申し出られましても準備できかねる場合があります．同様器具を持ち込まれる場合も事前にお申出ください．会場の都合で設営できない場合があります．（OHP及びPC用液晶プロジェクタは常備します．なお，操作は講演者側でお願いします．）
10. **申込み先**：〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11
    社団法人　溶接学会　全国大会係
    電話 (03) 3253-0488

◎電話による申込及び締切り以後の申込は一切受付けませんのでご注意ください．

溶接学会全国大会講演分類

分類記号・番号	項目	備考	分類記号・番号	項目	備考
A	溶接・接合プロセス	含機器	E	新材料接合部の諸特性	
1	溶融溶接(1)：アーク溶接，ガス溶接		1	セラミックス	
2	溶融溶接(2)：高エネルギービーム溶接		2	複合材料	
3	圧接(1)：抵抗溶接		3	機能材料	
4	圧接(2)：摩擦，超音波，爆接など		4	高分子材料	
5	固相接合，拡散接合		5	その他	
6	接着，ウエルドボンド		F	溶接・接合部の強度・破壊と設計	
7	ろう接：ろう付，はんだ付		1	溶接・接合部の応力，変形	含残留応力
8	マイクロ接合		2	溶接・接合部の静的強度	
9	機械的接合：リベット，ボルト継手など		3	破壊靭性，き裂（発生，進展）	
10	その他		4	疲労強度，疲労き裂	
B	表面改質及び熱加工プロセス	含機器	5	環境強度，クリープ	
1	成膜(1)：肉盛，溶射，めっき		6	溶接・接合設計（強度計算など）	
2	成膜(2)：PVD, CVD，イオンミキシング		7	信頼性，安全性評価	
3	成形：焼結，HIP，鋳ぐるみなど		8	劣化診断，寿命予測	
4	切断，ガウジング，穴あけ加工など		9	その他	
5	その他：焼き入れ，グレージング，封孔処理など		G	品質保証，施工管理	
C	制御・システム工学		1	品質保証，工程設計など	
1	センサ，モニタ，計測技術		2	安全・衛生，教育，訓練	
2	インプロセス制御技術，品質制御技術		3	非破壊検査，同機器	
3	ロボット工学・技術		4	生産設備など	
4	自動化，システム化技術				
5	CAD, CAM, FA		H	接合技術の新しい展開	
6	その他：新技術，新システムなど		1	新接合技術	
D	金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性		2	新熱源開発，同応用	溶接・接合工学に基づく技術
1	溶接・接合部並びに表面改質部の物理化学		3	新素材開発	
2	溶接・接合部並びに表面改質部の組織及び機械的性質	含鋼材，溶接材料など	4	加工技術	
3	耐食性，耐環境性		5	その他	
4	低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど		I	溶接・接合技術の各産業分野への展開	
5	気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥		1	製品開発	
6	その他		2	生産，製造，施工，組立など	
			3	その他	

全国大会講演概要原稿執筆要領（キーワードをご記入ください）

講演概要は，提出された原稿をそのままB5版（約2/3）に縮写しオフセット印刷しますので，原稿は必ず下記要領に従ってください．

なお，この要領に記載していない事項については，「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください．

1．原稿用紙

本会所定のものに限ります．

1ページ目は，題目，勤務先（研究場所），氏名，英文タイトル，英文著者名，キーワード，本文などの印刷してある用紙（A）を使用してください．

（原稿用紙にすでに印刷してある文字は印刷の際は写りません）

2．原稿の長さ

題目（和英両文），勤務先，著者名（和英両文），キーワード（和英両文）本文，図表及び写真を含めて，原稿用紙2枚（A, B）にできるだけ余白を残さずに書いてください．

字数は，40字×37行×2枚＝2,960字（タイトル等に約360字，本文は約2,600字）です．

3．原稿の書き方

イ．題目，勤務先，著者名，キーワード

原稿用紙（A）の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください．

題目はできるだけ簡潔に願います．

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい）

著者連名の場合は，講演をする著者名の頭に○印をつけてください．

英文タイトル及び著者名は，次の例のように書いてください．

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように3～5ワード書いて下さい．

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労　Keywords: arc, plasma, physics

ロ．本　文

原稿用紙（A）12行目から（B）いっぱいに原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください．また，タイプライター，ワープロ使用の場合，用紙の枠いっぱいにコマ数（40字×37行）だけ打ってください．（全体の字数が超過しなければ，行数，一行の字数の多少の変動はかまいません）

オフセット印刷であることを考えて，文字，図表は鮮明に書いてください．鉛筆書きは，原稿取り扱い中に消滅の恐れがあることと刷り上がりがよくないので使用しないでください．また，ボールペンも字の輪郭がぼやけ，刷り上がりが汚くなることがあります．

レイアウトに際しては，概要集全体の体裁を考えて，行頭，端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください．

文字の大きさは，刷り上がりが約2/3に縮刷されることを考慮して，大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います．

大体，原稿用紙のコマに多少隙間をつけて書けば刷り上がりがきれいになります．

ハ．図表及び写真

図表及び写真は，縮尺（約2/3）を考慮した大きさにして関連する本文の近い場所に貼付してください．

または，直接原稿用紙に書き込んでも結構です．図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います．

なお，顕微鏡写真など縮尺を記入する必要があるものは，刷り上がりが2/3になることを計算して記入してください．

図表及び写真には，Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し，表題，説明（Caption）は英文で書いてください．（写真はPhotoでなくFig. としてください）

4．校　正

校正は（著者，編集者とも）いたしませんから，誤字，脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください．書き損じた場合は，用紙を汚さないよう注意して修正してください．

（汚れはそのまま刷り上がりますので，白色の修正液を用いるか，できるだけ原稿用紙と同質同光沢の用紙を貼って修正してください．紙を貼って修正する場合，下の字が透けないよう注意してください．）

5．原稿の提出

全国大会研究発表講演募集要領（会誌2号，6号で会告します）に従って期日までご提出ください．

なお，原稿を郵送する場合は，折れ曲がらないように厚紙を添え，封筒の表に講演番号を明記し，「全国大会講演概要原稿」在中と書いてお送りください．

〔原稿見本〕

（　　）　　**プラズマ溶接の研究**

↑

講演番号　　日本工科大学　○秋山　冬彦

（本会で記入）　　世界電機㈱　　夏川　春樹

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労　Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→

本研究は，プラズマジェットを用いる溶接法について……

↑

1～2字アケル

Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and reduced in size of about 2/3 for printing and published as "Preprint of the National Meeting of JWS".

1. Manuscript papers

The manuscript papers designed by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precesely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A. Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3～5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in Sl units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor.

5. Submission of manuscripts

Manuscripts should be maled to JWS office in an envelope, with a red note "Manuscript for the National Meeting" on its face surface. It is advised to put a hard sheet in the evevelope to avoid any damage of manuscripts by bending during handling.

– SAMPLE (reduced in size) –

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTHCED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE

PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda
Department of Welding and Production Engineering
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi
Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plstic coxstraint

INTRODUCTION

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structur respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constra.

全国大会講演プログラム校正の電子化(試行)について

全国大会運営委員会

下記により,「研究発表講演者」向け大会プログラムの校正を一部電子化（PDF 化）し，ホームページ上での校正刷りの閲覧を試行しておりますので，希望される講演者は，所定の全国大会講演発表申込み用紙（本誌 2，6 号綴じ込み）の E メール欄に E メールアドレスを記入し，お申込みください．E メールアドレスの記入がない講演者には，従来どおり校正刷りを郵送いたしますので，E メール欄は空白のままお申込みください．

記

1. 校正開示

大会プログラムの印刷用版下が完了後，講演者宛に E メールにてご通知いたします．（校正刷りの郵送はいたしません．）

2. 使用ソフト

アドビ社製アクロバットリーダー．バージョン 4.0（ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応）

無料ダウンロードアドレス

http://www.adobe.co.jp/produkts/acrobat/readstep.html

また，現在アクロバットリーダー　バージョン3.0の方は 4.0 にアップグレードしてください．

3. 開示場所

http://www.jpp.co.jp/~yosetu

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し，ダウンロードのあとプリントアウトしてください．該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-3253-3059) にて送信ください．E メールでの送信はご遠慮ください．

5. アクロバットリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版㈱　電算室

Tel　06-6441-0075　E メール　kobayasi@jpp.co.jp

平成15年度春季全国大会フォーラム論文募集

主　題：疲労強度改善スマートマテリアル「低変態温度溶接材料」の効果と適用性

座　長：森 猛（法政大学）

開催趣旨：

溶接構造物には疲労損傷を受けやすいという弱点があります．これまでに起きた溶接構造物の破壊事故の多くは疲労損傷が引き金となっています.このような事故を防止するための方策の一つとして，溶接継手自体の疲労強度を向上させることが考えられます．従来は，溶接止端などの疲労破壊起点となる部位のグラインダー仕上げやTIG－Dressing，ピーニング，熱処理などが行われてきました．これらの方法を大別すると，疲労亀裂発生点の応力集中を軽減するものと．溶接による引張残留応力を軽減あるいは圧縮残留応力へ変化させるものになります，低変態温度溶接材料の使用は，後者の方法です．従来のような後処理の必要はなく，この材料を用いるだけで従来の溶接材料を用いたものに比べて格段に疲労強度が改善されるという結果が報告されています．しかし，その施工性や適用性については不明な点も少なくありません．

本フォーラムでは，溶接材料と溶接部の性質，残留応力の発生機構と実際，各種継手への適用事例，構造物へ適用する際の留意点，他の疲労強度改善法との比較など，広い視点から，低変態温度溶接材料の効果と適用性について議論したいと考えています．これらのことについて，検討を進めている方の講演申込みをお待ちしています．

記

日　時：平成15年４月23日(水)～25日（金）

場　所：三省堂文化会館(東京)

講演申込方法：著者名，タイトル，概要(400字程度)，連絡先を明記の上，溶接学会事務局へお申込下さい．

申込締切日：平成14年１０月31日

講演採否：お申込いただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します．

採択された講演者には，所定の書式に従って作成した原稿を，平成15年2月1日までに提出いただきます．提出いただいた原稿は溶接学会全国大会講演概要No.72に掲載致します．なお，講演時間は1件15分程度を予定しています．原稿作成・講演方法などの詳細は座長より連絡されます．

平成14年度秋季全国大会における液晶プロジェクター利用の試行について

全国大会運営委員会

平成13年度溶接学会秋季全国大会より，液晶プロジェクターの利用を試行しておりますので，今秋季全国大会において，液晶プロジェクターの利用を希望される方は，下記の事項を遵守するとともに，トラブルがあった場合には，OHPシートによる発表に切り換えさせていただくことをご了承の上ご使用ください．

記

全国大会運営委員会で準備する機器

1) 液晶プロジェクタ
2) パソコン

発表者の準備するもの

1) パワーポイントで作成した発表用のファイル
（ISO 9660形式）
メディアはCDとし，ファイル名は次のように付けておいてください．
講演番号＋発表者氏名.ppt
2) OHPシート

※休憩時間の間に液晶プロジェクタに接続したパソコンに，発表者ご自身で発表用のパワーポイントファイルをコピーしていただきます．各自持参のコンピュータを接続することは行いません．

※トラブルがあった場合には，OHPプロジェクターによる発表に切り換えさせていただきますので，OHPシートも必ず準備しておいてください．

日本学術会議 接合工学専門委員会 平成14年度シンポジウム

人工物の寿命と再生
ー構造・機器のリニューアルに果たす溶接・接合技術ー

主　催：日本学術会議第18期人工物設計・生産研究連絡会接合専門委員会
共　催：大阪大学接合科学研究所，電気学会，土木学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本造船学会，日本鉄鋼協会，溶接学会
日　程：平成15年1月27日（月）10：30〜17：00
会　場：日本学術会議講堂
〒106-8555　東京都港区六本木7-22-34
TEL 03-3403-6291（代）
（地下鉄千代田線「乃木坂」下車 5 番出口を出てすぐ左へ徒歩 2 分）
定　員：300名　参加無料，多数ご参加を歓迎いたします．
講演予稿集は，3,000円（予定）
参加予定の方は下記宛参加の旨ファックスまたはe-mailにてご連絡下さい．
連絡先：世話学会　（社）溶接学会
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町１－１１
TEL 03-3253-0488　FAX 03-3253-3059
e-mail: jws-ms@t3.rim.or.jp

開催趣旨：

21世紀の我が国は世界にも希な高齢化成熟化社会となり，と同時に国内のインフラストラクチャーも高経年化を迎える．たとえば原子炉は今後次々と寿命を迎えることになるがその延命（Life Extension）化対策とその後の廃棄処分の問題，あるいは道路・橋梁などの疲労欠陥などによる機能低下とその再生（リニューアル）の問題が顕在化している．ものには寿命があり，ものを製造する際に設計段階から LCA（Life Cycle Assessment）思想を取り入れる考え方が普及しつつある．しかし，過去に製造された発電設備，橋梁，船舶，自動車，産業機械などすでに寿命を迎えつつある構造物は，どのように再生を果たすのかさもなければ廃棄すべきか，安全，環境，コストの面から評価を下さねばならない．
本シンポジウムは人工物（構造物と機器）の再生さもなくば廃棄（Fix it or scrap it）という課題に対し，溶接・接合技術が果たすべき役割をその分野の専門家に論じてもらうものである．

プログラム：司会　百合岡信孝　接合工学専門委員会幹事

10:30〜10:40　**開会挨拶**：冨浦　梓　接合工学専門委員会世話人，第5部長
10:40〜11:25　1）都市再生のための橋梁リニューアルにむけて
三木　千壽　東京工業大学教授
11:25〜12:10　2）建物の耐震診断と補強技術：安全な住空間を求めて
柴　慶治　清水建設（株）技術研究所主任研究員
12:10〜13:10　休憩
13:10〜13:55　3）高経年を迎えた発電設備への延命対

	策と電力安定供給への努力 松村　洋　　関西電力（株）取締役
13:55〜14:40	4）経年船体の状態評価と維持管理 山本　規雄（財）日本海事協会技術研究所主任研究員
14:40〜15:25	5）自動車の寿命とリサイクル技術の現状 益田　清　トヨタ自動車（株）環境部部長
15:25〜16:10	6）微細構造物の寿命を支配するものとその制御技術：マイクロ接合技術の課題と解決 塚田　裕　日本アイ・ビー・エム（株）C/T開発製造野洲研究所IBMフェロー
16:10〜16:50	総合討論・まとめ：豊田政男　接合工学専門委員会幹事
16:50	閉会挨拶：牛尾誠夫　接合工学専門委員会委員長

Mate 2003 第９回 「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合･実装技術」シンポジウム 論文募集について

主　催：(社)溶接学会　マイクロ接合研究委員会
共　催：(社)機械学会　電子デバイス／電子実装における信頼性に関する研究分科会
(社)高温学会　加工・再生研究情報委員会
(社)日本塑性加工学会　接合・複合分科会
レーザ加工学会
技術研究組合　超先端電子技術開発機構（ASET) 電子SI技術研究部
ＩＭＳプロジェクト　環境対応次世代接合技術の開発
大阪大学　先端科学技術共同研究センター
協　賛：映像情報メディア学会，エレクトロニクス実装学会、応用物理学会，化学工学会，画像電子学会，軽金属学会，計測自動制御学会，高温学会，高分子学会，資源・素材学会，システム制御情報学会，情報処理学会，人工知能学会，精密工学会，電気化学会，電気学会，電気設備学会，電子情報通信学会，日本化学会，日本機械学会，日本金属学会，日本材料学会，日本シミュレーション学会，日本接着学会，日本セラミックス協会，日本塑性加工学会，日本電子顕微鏡学会，日本伝熱学会，日本非破壊検査協会，日本表面科学会，日本品質管理学会，日本複合材料学会，日本物理学会，日本分析化学会，日本溶接協会，表面技術協会，プラスチック成形加工学会
（協賛依頼中）
日　時：平成15年２月６日 (木) ～ ７日 (金)
パシフィコ横浜　会議センター
５階（小ホール，501,502）
横浜市西区みなとみらい１丁目１１
TEL:045-221-2121

開催主旨

21世紀はIT革命の時代とも言われ，エレクトロニクス類は高速大容量通信対応に変革していきます．20世紀後半におけるエレクトロニクスデバイス・製品の多様化，高密度化，高機能化の進展はめざましいものがあり，マイクロ接合，パッケージング・アセンブリ技術を中心とした生産技術の顕著な革新がありました．今世紀においてもこれら生産技術に対する要求や対象となる材料はますます広がりを見せてきており，ブロードバンドインターネット時代における生産技術の果たす役割は今まで以上に重要となってきています．今後とも先鋭化・多様化する要求に応えていくには，本シンポジウムの対象としているマイクロ接合，パッケージング・アセンブリ技術を中心に，高速大容量対応製品製造ための生産技術の体系化と科学的探求が強く要望されています．本シンポジウムでは，これら生産技術に関する最新の研究・開発に関する研究者相互の情報交換の場をより広くかつ定期的に持ち，生産の科学と技術の進展を促すことを目的として企画開催されます．

参加費：

主催・共催団体加入会社	： 20,000円
協賛学協会会員会社	： 30,000円
論文口頭発表者	： 15,000円
大学・国公立研究機関	： 10,000円
学生	： 5,000円
その他	： 40,000円

講演論文募集

左記主旨に従い，シンポジウムを開催いたします．つきまして，独創性に富むオリジナル講演論文を募集しております．各講演の発表時間は20分（発表12分，質問8分)，発表件数は約90件を予定しております．投稿希望の方は下記の送り先まで，応募していただくようにお願い申し上げます．

なお，本シンポジウムで発表されたすべての論文発表者には，別刷り30部を無料贈呈します．また，優秀な論文に対して，シンポジウム賞（論文賞，奨励賞）の表彰制度も用意しております．

応募締切：平成14年９月２日（月）厳守

応募方法：次の必要事項を記載して、E-mail,FAX,郵送のいずれかでMate 2003事務局に送付して下さい．E-mail を利用できる方はできるだけE-mailで送付していただけますようお願いします．

（1）発表題目（和文と英文）
（2）著者名と所属先（和文と英文）
（3）著者代表者の連絡先
（4）概要（和文120～150字程度）
（5）トピックス記号（カテゴリー A～C の中から該当する記号を選んで下さい）
例えば，
レーザによる微細加工プロセスに関する研究
=> A-5,B-1
携帯機器創成を目的としたソルダリング部の信頼性の研究 => A-2,B-7,C-6

申込みを受理した後１週間以内にE-mailもしくはFAXで受理通知を送付させていただきます．

受理通知が届かない場合は，Mate 2003事務局にご確認して下さい．

また，論文採択につきましては別途、採択通知を９月末までに送付いたします．

論文原稿送付締切日：平成14年11月20日（水）

論文様式概要

本文は日本語で，Figure Caption は英語で記述する．ただし，すべて英語で記述しても結構です．

●字　体：英語の字体（フォント）はTimes，日本語の字体は明朝体とする．
●題　目：本文が日本語の場合，日本語と英語（字サイズ：14point，題目の字体は等幅明朝体またはゴシック体とする）．
●著者名：本文が日本語の場合，日本語と英語（字サイズ：9 point）．
●Abstract：英語（60～120 words）（字サイズ：8 or 9 point）．
●本　文：日本語または英語（字サイズ：9point），本文二段組．
●マージン： 上：25mm，下左右：20mm．
●用　紙：A4白用紙．
●図の説明：英語（図面は本文の後ろに並べてもよい）．
●ページ数：4 ページ または 6 ページ（奇数ページでの仕上がりは禁止する）．

なお,論文採択決定後,詳しい投稿規定を送付します．

＜論文に関する問合せ先＞

大阪大学 接合科学研究所 高橋康夫
Tel. 06-6879-8658　Fa. 06-6879-8689
E-mail : taka@jwri.osaka-u.ac.jp

＜論文の送付先、事務に関する問合せ、連絡先＞

〒101－0025　東京都千代区神田佐久間町1－11
（株）溶接学会　Mate 2003 事務局

Mate 2003 担当連絡先
TEL：06－6879－8698　　FAX：06－6878－3110
E-mail : mate@jwri.osaka-u.ac.jp

＜シンポジウム URL ＞

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/research/micro/mate/Mate2003.html

トピックス記号

カテゴリー　A 工　法	カテゴリー　B 研究・開発の観点	カテゴリー　C 対象形態・製品
A- 1　マイクロ接合 ワイヤボンディング フリップチップ ＣＯＢ，ＴＡＢ その他	B- 1　プロセス	C- 1　モジュール
A- 2　マイクロソルダリング	B- 2　材料	C- 2　パッケージ
A- 3　薄膜形成	B- 3　機能特性	C- 3　パワーデバイス
A- 4　厚膜形成（めっきなど）	B- 4　メカニズム	C- 4　エネルギー変換素子
A- 5　ビーム加工	B- 5　拡散現象	C- 5　通信機器
A- 6　エッチング	B- 6　界面構造	C- 6　携帯機器
A- 7　マイクロ加工	B- 7　信頼性	C- 7　コンピュータ
A- 8　塑性加工	B- 8　品質	C- 8　コンピュータ周辺機器
A- 9　接着	B- 9　シミュレーション	C- 9　液晶ディスプレー
A-10　光・電子アセンブリ	B-10　設計	C-10　プラズマディスプレー
A-11　光インターコネクション	B-11　設備・機器	C-11　ビデオ
A-12　その他	B-12　解析	C-12　自動車用電装品
	B-13　システム	C-13　エネルギー変換機器
	B-14　計測	C-14　その他
	B-15　環境調和・リサイクル	
	B-16　その他	

群馬県職員募集案内

群馬県職員（任期付研究員）募集案内

1　募集職種・人員

ネットワーク技術研究員　1名

2　業務内容

主に産業技術センター（前橋市）に勤務し，次の業務を行います．

製造現場におけるネットワーク技術・電子回路技術や無線LAN応用技術等についての幅広い知識と実践的な経験に基づき，中小企業向けのネットワークシステム構築に係る開発研究を行います．

3　任　　期

平成15年4月1日から平成18年3月31日までの3年間（予定）

4　募集資格

産業技術センターは，中小企業に役立つ実績をあげ，真に中小企業を支援していける技術支援の拠点となることを目指しております．この趣旨を理解し，情熱を持って開発研究に取り組む意欲のある人材で，次の要件を満たす人が応募できます．

⑴　大学院修士課程を修了し，一定の経験をもとに独立して研究する能力を有する人

⑵　⑴と同等の能力を有すると認められる人

※年齢，国籍は問いません．

※地方公務員法第16条により次のいずれかに該当する人は受検できません．

- 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む）
- 禁錮以上の刑に処せられ．その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- 群馬県職員として懲戒免職の処分を受け，当該処分の日から2年を経過しない人
- 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し，又はこれに加入した人

5　選考方法等

◇**第1次選考**　書類選考（研究業績，論文）．応募時に提出された研究業績調査書及び論文等の内容を審査し合格者を決定します．

合格発表は10月下旬を予定しています．

(1)　研究業績調査

(2)　論文　「産業技術センターにおいて，与えられた期間内で自ら実行したい開発研究の内容と具体的成果」について，A4版の用紙3枚以内（書式自由）に記述し，欄外に署名・捺印をして提出して下さい．

◇**第2次選考**　第1次選考合格者に対して，面接，適性検査等を実施し，合格者を決定します．選考は，11月下旬頃を予定しています．（日時場所等詳細は第1次選考合格通知でお知らせします）

(1)　適性検査　職務遂行上必要な適性を有するかどうかについて検査します．

(2)　面接　プレゼンテーション及び人物について個別面接方式により行います．

(3)　身体検査　職務遂行に必要な健康度を有するかどうかについて検査します．（健康診断）（所定の用紙により指定機関で受診して下さい．）

◇**その他**　選考の合否は，応募者全員に文書で通知します．

6　勤務条件等

(1)　給料

大学卒業後における研究従事期間や研究内容に応じて，給料月額が決定されます．

例えば，大学院博士課程修了直後の者の有する程度の専門的な知識経験を有する場合は，月額347,000円です．

なお，任用期間を通じて，採用時に決定された号給が適用されます．

号給	給料月額
1	347,000円
2	388,000円
3	420,000円

(2)　諸手当

期末手当，通勤手当，時間外勤務手当等の手当が支給されます．

(3)　共済組合

任用期間中は，地方公務員として，共済組合に加入することとなります．

(4)　勤務時間

月曜日から金曜日　原則として，8時30分から17時15分までです．

土曜，日曜，祝日，年末年始は原則として休みです．

(5)　休暇

年次有給休暇の他，夏期休暇，病気休暇，結婚・忌引き等の特別休暇もあります．

(6)　福利厚生

定期健康診断等の健康管理制度や人間ドック受診への助成があります．

また，職員及び家族の病気，出産等の際には，共済組合等からの給付が受けられます．さらに，文化芸術鑑賞助成等の様々な福利厚生制度があります．

7　提出書類

⑴　任期付研究員選考申込書（別紙様式1）　1部

⑵　履歴書（別紙様式2）　1部

⑶　最終学校の成績証明書　1部

⑷　最終学校の卒業証明書　1部

⑸　研究業績調査書（別紙様式3）　1部

⑹　論文　1部

⑺　住民票（本籍と続柄を省略した本人のみの住民票）　1部
⑻　合否通知書用封筒（返信用）　1部
（封筒に，連絡先住所・氏名を明記し，80円切手を貼付したもの）
※提出していただいた書類等はお返しいたしません．

8　申込手続

提出書類を平成14年10月10日（木）までに群馬県商工労働部工業振興課産業技術センター整備推進グループあて郵送又は持参して下さい．
なお，郵送の場合は，簡易書留又は配達記録とし，封筒の表に「任期付研究員選考申込」と朱書きしてください．10月10日（木）までの消印のあるものに限り受け付けます．

9　採　　用

採用は，平成15年4月1日の予定です．

10　問い合わせ先

〒371-8570　前橋市大手町1-1-1
群馬県商工労働部工業振興課産業技術センター整備推進グループ
TEL　027-223-1111（内線3359番）
027-226-3359（ダイヤルイン）
FAX　027-221-3191
E-mail:samata-h@pref.gunma.jp

群馬県職員募集案内（選考試験）

1　募集職種・人員

⑴　産業技術センター研究員（エネルギー技術研究員）　1名
⑵　産業技術センター研究員（薄膜技術研究員）　1名
⑶　繊維工業試験場研究員（繊維応用技術研究員）　1名
※申し込みできる職種は，一つに限ります．

2　業務内容

産業技術センター研究員は主に産業技術センター（前橋市），繊維応用技術研究員は主に繊維工業試験場（桐生市）に勤務し，次の業務を行います．

(1)　産業技術センター研究員（エネルギー技術研究員）
エネルギーの効率的利用等についての知識と経験に基づいて，環境負荷や製造コスト低減等の観点から，省エネルギー技術やエネルギー貯蔵技術等に係わる開発研究並びに技術支援を行います．

(2)　産業技術センター研究員（薄膜技術研究員）
各種材料の化学的・物理的な表面処理技術に関する知識と経験に基づいて，素材表面への薄膜製造技術等の開発研究並びに技術支援を行います．

(3)　繊維工業試験場研究員（繊維応用技術研究員）
繊維に関する基盤的技術及び化学や物質工学に関する知識を応用した開発研究，技術指導，技術相談，試験・評価等を行います．

3　応募資格

産業技術センターは，中小企業に役立つ実績をあげ，真に中小企業を支援していける技術支援の拠点となることを目指しております．
また，繊維工業試験場は，繊維業界を取り巻く環境が厳しさを増すなか，県内繊維関連企業に対する技術支援体制の充実を目指しております．
この趣旨を理解し，開発研究，技術指導，試験・評価等に情熱を持って取り組む意欲のある人材で，次の要件をすべて満たす人が応募できます．

(1)　年齢　平成15年4月1日現在，27歳以上の人
(2)　その他　①学校教育法に基づく4年制の大学又は大学院を卒業した人，又は同程度の学力を有する人
②企業，大学等において，開発研究又は製品開発・評価，技術指導，技術相談等の分野で5年以上の実務経験を有する人

※地方公務員法第16条により次のいずれかに該当する人は受検できません．

・成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む）
・禁錮以上の刑に処せられ，その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
・群馬県職員として懲戒免職の処分を受け，当該処分の日から2年を経過しない人
・日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し，又はこれに加入した人

4　選考方法等

◇第1次選考　書類選考（研究業績，論文等）．応募時に提出された研究業績調査書及び論文等の内容を審査し合格者を決定します．
合格発表は10月下旬を予定しています．

(1)　研究業績調査

(2)　論文　次のテーマについて，A4版の用紙3枚以内（書式自由）に記述し，欄外に署名・捺印をして提出して下さい．

区　　分	テ ー マ
⑴エネルギー技術研究員 ⑵薄膜技術研究員	「これまでの経験をもとに，産業技術センターにおいて，自らがなし得ること」
⑶繊維応用技術研究員	「これまでの経験をもに，繊維工業試験場において，自らが成し得ること」

◇第2次選考　第1次選考合格者に対して，面接，適性検査等を実施し，合格者を決定します．選考は，平成14年11月下旬頃を予定しています．（日時，場所等詳細は第1次選考合格通知でお知らせします）

(1)　適性検査　職務遂行上必要な適性を有するかどうかについて検査します．

(2)　面接　プレゼンテーション及び人物について個別面接方式により行います．

(3)　身体検査　職務遂行に必要な健康度を有するかどうかについて検査します．（健康診断）

◇**その他**　選考の合否は，応募者全員に文書で通知します．

5　勤務条件等

(1)　給料

初任給は，採用時の年齢，学歴，職歴に応じて一定の基準により決定されます．

(2)　諸手当

期末・勤勉手当（ボーナス）が支給されます．

また，勤務，扶養，住居等の手当が条件に応じて支給されます．

(3)　勤務時間

月曜日から金曜日　原則として，8時30分から17時15分までです．

土曜，日曜，祝日，年末年始は原則として休みます．

(4)　休　暇

年次有給休暇が20日（4月新規採用職員は16日）が与えられます．

この他，夏季休暇，病気休暇，結婚・忌引き等の特別休暇や介護休暇，育児休業制度もあります．

(5)　福利厚生

定期健康診断等の健康管理制度や人間ドック受診への助成があります．

また，職員及び家族の病気，出産等の際には，共済組合等からの給付が受けられます．

さらに，住宅取得や物資購入資金の貸付，文化芸術鑑賞助成等の様々な福利厚生制度があります．

6　提出書類

(1)　研究員選考申込書（別紙様式1）　1部

(2)　履歴書（別紙様式2）　1部

(3)　最終学校の成績証明書　1部

(4)　最終学校の卒業証明書　1部

(5)　研究業績調査書（別紙様式3）　1部

(6)　論文　1部

(7)　住民票（本籍と続柄を省略した本人のみの住民票）　1部

(8)　合否通知書用封筒（返信用）　1部
（封筒に，連絡先住所・氏名を明記し，80円切手を貼付したもの）

※提出していただいた，書類・資料等は返還いたしません．

7　申込手続

提出書類を平成14年9月30日（月）までに群馬県商工労働部工業振興課産業技術センター整備推進グループあて郵送又は持参して下さい．

なお，郵送の場合は，簡易書留又は配達記録とし，封筒の表に「研究員選考申込（応募職種を記載のこと）」と朱書きしてください．9月30日（月）までの消印のあるものに限り受け付けます．

8　採　　用

採用は，平成15年4月1日の予定です．

9　問い合わせ先

〒371-8570　前橋市大手町1-1-1

群馬県商工労働部工業振興課産業技術センター整備推進グループ

TEL　027-223-1111（内線3359番）

027-226-3359（ダイヤルイン）

FAX　027-221-3191

E-mail:samata-h@pref.gunma.jp